

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

(48)

春日部張子人形

(招き猫本舗 玩古庵)



張子とは、和紙を型に張り重ね、乾燥させた後で型から抜き取り、彩色をして作り上げたものである。ほんわかとした癒し系の形状が、見る者の心を和ませる。原色を多用した鮮やかな色彩が引き立つ。江戸時代からしっかりと受け継がれてきた伝統の技と慣習が踏襲されている。

定番は、招き猫やダルマ。インバウンド観光客からも大人気で、銀座やスカイツリーなどの土産物店からは大量の注文が入ってくるそうだ。結婚、出産、節句、新築・開店、就職・退職などの祝い事の贈り物としても重宝されている。

手漉き、手張り、手書きと、すべての工程が手作業。一品ずつ形も表情も微妙に違うのが面白い。お客様がデザインしたものを作ることもある。会社のカラーに合わせて、ロゴを入れて、その会社らしいモチーフを入れてと自由自在に作り上げる。伝統工芸でありながら、その枠に収まらない自由奔放な創作活動が当家の特徴でもある。張子人形の絵付け体験会も実施している。世界にたった一つの作品に仕上げても貴重な宝物になりそうだ。



張子人形絵付け体験

張子人形に絵付けをしてみませんか？出張体験も承ります。



■ 招き猫本舗 玩古庵

代表者 五十嵐俊介

〒344-0038 春日部市大沼 2-62-22

<https://www.maneki-neko.com/>

(武蔵野銀行武里支店取引先)